



CS通信

北海道余市養護学校しりべし学園分校
学校運営協議会

令和6年度第3号（通巻9号）

発行：令和7年3月24日

令和6年度第3回学校運営協議会開催！！

令和7年2月25日（火）に第3回学校運営協議会（コミュニティー・スクール）しりべし学園分校部会が開催されました。当日は4名の委員の皆様をお迎えし、①令和6年度の学校評価といじめ認知件数の報告②令和7年度学校経営方針（案）について説明し承認いただきました。また、全体会では、各学部からの実践及びめざす姿の評価を行い、各委員からご講評いただき、次年度に向けた活動アイデアや、地域資源の活用に関する貴重なご意見をいただきました。



【委員の皆様：（左から）梁田委員、藤田委員、中村委員、富樫委員（副会長）】

第3回熟議 テーマ

地域資源や地域人材を活用した教育活動と成果について全体共有し、次年度の「地域とともにある魅力ある学校づくり」につなげる。

各学部からの実践及びめざす姿の評価

小学部 「関わりと経験を楽しむ姿」

【令和6年度の取組】

- ・黒松内の自然の中での活動の経験
→ 武田牧場、ブナセンターの活用
- ・福祉施設との交流
→ 黒松内町ディ・サービスセンター
- ・同年代の児童との関わりでの充実
→ 黒小交流、白小交流

【めざす姿の達成度】

- ・見る、触るなど実体験の活動ができた。
- ・学習の発表やお年寄りとの交流の経験ができた。
- ・町内の小学校2校と交流ができた。

【課題】

- ・学習日程が2学期に集中した。
- ・単発的な活動になった。
- ・地域資源活用のための移動手段の確保。

【令和7年度に向けて】

- ・実施時期と活動の精選。
- ・継続可能な授業内容の見直し。



【福祉施設との交流】

中学部 「頼られ、ほめられる姿」

【令和6年度の取組】

- ・黒松内の農業体験 → 富田ファームでのジャガイモ掘り、武田牧場での餌やり
- ・黒松内の自然体験 → ゲストティーチャーを招いてのスノーシュー散策
- ・交流活動 → 黒中交流、フットパスクラブや国際交流協力員、ブナセンター職員との交流

【めざす姿の達成度】

- ・活動の中で自然な形で交流ができた。
- ・助言を受けながら主体的に活動を行うことができた。
- ・関わる人からの賞賛を受け自信を深めることができた。優しい一面も発揮できた。

【課題】

- ・次年度以降の展開。（交流や活動内容の深化 or 新しい活動の創造）
- ・交流相手との繋がりの維持。
- ・移動手段の確保。

【令和7年度に向けて】

- ・他の教育活動との関連で負担にならない計画の立案。
- ・事前、事後学習の充実。（見通しをもつ、活動の振り返り）



【ゲストティーチャーを招いてのスノーシュー散策】

高等部 「その子らしさや良さを発揮する姿」

【令和6年度の取組】

- ・外部（地域の方）講師を招いて、武道（剣道）の授業を実施。
- ・除雪ボランティアを行う際に、主体的に呼び込む工夫。

【めざす姿の達成度】

- ・外部の方たちと関わることで、意欲的に取り組む姿が見られた。
- ・教員側が協働的な作業等の場面の視点を意識して、授業改善に取り組むことができた。

【課題】

- ・生徒の課題の解決に向けた取り組みの充実
→ 特に取り組むべき課題
「積極的に関わることに躊躇する。」
「協働的な関わりが少なく、個々としては熱心に取り組めるが、他者とのコミュニケーションがまだ不足している。」

【令和7年度に向けて】

- ・校外に出ても生き生き主体的に活動できる姿をめざす。
- ・協働的な活動の機会を増やす。



【ゲストティーチャーを招いての剣道】

委員の皆様からのご講評

藤田委員からのご講評



今年度のCS会議でできたことや、先生方が考えていたことが、こうやって実際に実施されているのがまずすごいと思いました。昨年も話題に上がっていた交通手段の課題についても、工夫を凝らした形で教育委員会からの協力を得ることができていました。実施について金石委員の協力もあったと思いますが、何より先生方のやる気や「子どもたちに積極的な経験をさせたい」という熱意が伝わってきました。うちの生徒も「楽しい」と言って学校に来ており、不安定な時期にも学校に支えていただいていることに感謝します。子どもたちを大切に思い、どのようにすれば彼らが伸びるかを考えてくださる姿勢が、私たちにも強く伝わってきました。来年度に向けては、この取り組みをさらにステップアップさせたり、回数を重ねたりすることで、地域の方からも意見をいただいて、より良い形にしていけるとと思います。新しいことを始めるということではなく、工夫を広げていくことが大切だと思っています。陰ながら協力いたしますので、今後ともよろしくお願いいたします。

梁田委員からのご講評



昨年は私も学校に在籍していたので、昨年と比較しても地域との関わりが増え、内容や種類が豊富になったことに嬉しく思っています。ゲストティーチャーの数も増え、内容が工夫されている点も大きな成果だと思います。課題としては、活動後に相手との関係がWIN-WINであることが重要です。地域の方へのアフターフォローが大切で、生徒に対しての事後学習に留まらず、地域の方々に向けても生徒たちの成長を伝えていく必要があります。そうすることで、地域の方から次回も協力したいと思ってもらえるのではないかと思います。来年は「地域に貢献する」というテーマが重要になるので、単発ではなく継続的な関わりを大切に、地域の方々や先生方も顔見知りになり、互いに信頼関係を築いていってほしいです。また、日頃の業務と重なりすぎて負担とならないよう、児童生徒に適しているかの視点で精選も大切かと思います。来年も引き続き期待していますので、よろしくお願いいたします。

中村委員からのご講評



ブナセンターをご利用いただき、ありがとうございました。これまで今年度のように利用していただいたことはありませんでしたが、今年度はブナセンターとしても計画書を作成しており、私の方にも報告を受けながら実施を進めてまいりました。単発とならないようにという話もありましたが、町内小中学校の総合の学習では、山やブナ林に行き、木々の恵みが川や海へとつながることを継続して学んでいます。また、川での学習で魚の種類を観察したり、海の学習で、地域の方が鮭の解体を見せてくださったりということもしました。ブナセンターでも木工部での活動があったり、農家の方々が豆腐や味噌作りを教えてくださいしています。実現したいことがあれば、ブナセンターや教育委員会にぜひ相談していただき、人材を紹介できることもありますので、地域の方々とのつながりを今後も継続して取り組んでいただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

金石委員からのご講評(お手紙による代読)

常に地域と共にという分校の職員の意識と黒松内で学んでくれている子どもたちに対し、町民の一人として、できることは何でもするぞという気持ちでしたが、それは私だけではありません。今回地域人材について考え、色々なところに声を掛けさせていただきましたが、どこも心よく受け入れてくださり、いつでも協力しますよというところばかりでした。「誰かが喜んでくれるなら自分もうれしい」とほとんどの人が持っている心です。実現の鍵は、先生方の熱と笑顔かと思っています。先生方の熱を感じたら、NOという人はいないはず。そこににっこり笑顔があれば完璧です。その橋渡しはこのCSの強力なメンバーがやらせていただきますので、したいことがあれば遠慮せずにどんどん言ってください。交通手段がないなど、解決が難しいこともありますが、解決を待っていても仕方ないので、やりたいことの100%の状況でなくても、地域の方に学校に来てもらい、学校内やみんなの学習の様子を見ていただき、そこでできることや、ヒントをもらいながら長い目で繋がっていくことも大事かと思っています。まずは地域の方と子どもたちとのコミュニケーションからでもよいのではないのでしょうか?ほんの少しずつでも前に進んでいけるように今後も一緒に考えていきたいと思います。子どもたちの未来のために。

富樫委員からのご講評



日頃からお世話になっております。子どもたちが様々な活動を経て施設に戻ってくると、非常に生き生きとしていて、今日どんなことをしたのか、どんな人に会ったのかを楽しそうに話してくれるのを見て、さまざまな経験を積んで、子どもたちが成長していると感じ、嬉しく思います。学習発表会では、関わった地域の方々も来校し、嬉しそうに見てくださっており、地域の方々にも子どもたちの成長を感じてもらえたのではないかと思います。地域の方にとっても将来ある子どもたちに対する理解が深まる良い機会となったのではないかと感じています。今回高等部の剣道のゲストティーチャーとして私の息子がお世話になり、初めての経験で、分校に行く前はどんな子どもたちがいるのかと話していたのですが、実際に関わりながら、分校の雰囲気を感じることで、「またやりたい」と言っていました。このように地域の方々にとっても、理解を深める良い機会となっており、それがまた子どもたちの成長にも繋がると感じています。中学部では、地域の方々との関わりを通じて、生徒たちの優しい一面も発揮できたとなりました。色々な子どもたちがいる中で、お互いを認め合い、理解し合えることにも繋がっていきなと感じました。ありがとうございました。

学校長からまとめのご挨拶

地域とつながり、さまざまな活動ができていることは素晴らしい取り組みだと感じています。実現したいと思ったことが、今年のうちに実現できている学校と地域の関係がとても素晴らしいと感じました。これからは地域の方々や協力しながら、分校が地域のためにできることも大切にしていきたいと思います。また、アフターの部分について、子どもたちの成長を見てもらえる機会を増やしていければ良いと思っています。最近ではSNSで学校の活動を発信しているところもあります。難しい面もありますが情報を活用し、アフターの部分を充実させ、日頃の活動の中で地域の方々に見てもらえるように、委員の皆様のお知恵をお借りしながら考えていけたらと思います。本当に一年間、ありがとうございました。



【編集後記】

御意見や御感想等がありましたら、下記アドレスよりメールにてお知らせください。お待ちしております。

今後も、地域とつながり、学び合う学校をめざしていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【E-mail】 yoichiyougoshiribeshi-z0@hokkaido-c.ed.jp